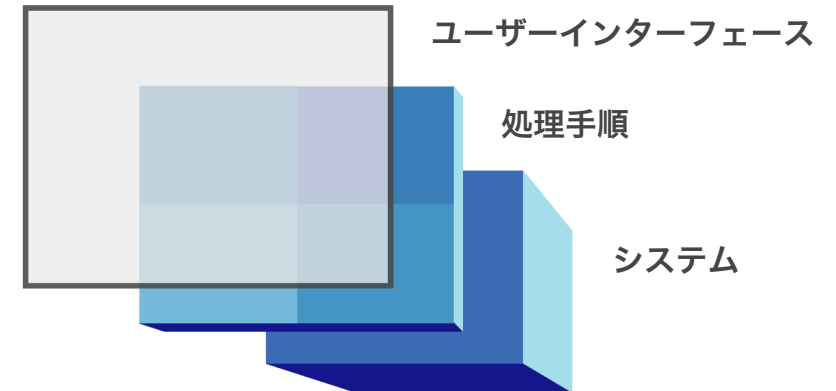
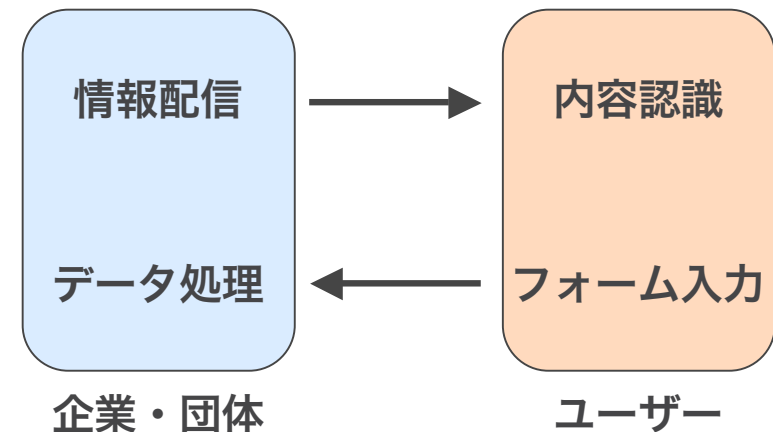


- **電子フォームの定義：**
金融機関をはじめとする顧客企業とエンドユーザー（生活者）の間でやりとりされる電子的帳票のうち、生活者が記入を要する帳票を電子フォームと定義します。
- **背景：**
ユーザーは事務手続きや各種申込みに必要な事項を電子フォームに入力して送信します。企業はこれを通信回線などにより受け取り、登録、変更、申込みなどの顧客情報として記録・処理を行っています。電子フォームの利用範囲が拡がり、生命・財産に関わる重要なコミュニケーション手段となった現在、ユーザーにとって、安心でわかりやすいインターフェースのデザインが求められています。
- **サービスの概要：**
独自の評価技術を用いて、ユーザーの「利用状況の把握」および「ユーザーインターフェースの評価・分析」を行い、「伝達を妨げる要因」を特定します。これらの評価で得た定量的なデータに基づいて、デザイン改善を支援します。また、ユーザーインターフェースを効果的に活用するシステムや、入力を支援する処理手順も併せて提供することで付加価値の高い電子フォームを実現します。
- **ユーザーのメリット：**
「ユーザーインターフェース」の機能には、わかりやすいデザインと容易に記入できる使いやすさが求められています。伝達効率に優れ、誤認・誤解をすることなく使用できる電子フォームは、ユーザーの入力負担を軽減して、効果的なコミュニケーションに役立ちます。
- **企業のメリット：**
企業にとっては、機会損失を防ぎ、優良な顧客体験を提供することで「記入不備率の低減」「対応コストの削減」「顧客の購買支援」につながるメリットがあります。
- **電子フォームのUCDA認証：**
UCDAでは「情報の利用品質」を確保して、伝達を妨げる要因を除去した電子フォームについてUCDA認証を賦与して、コミュニケーションの改善活動に貢献いたします。

＜電子フォームの概要＞

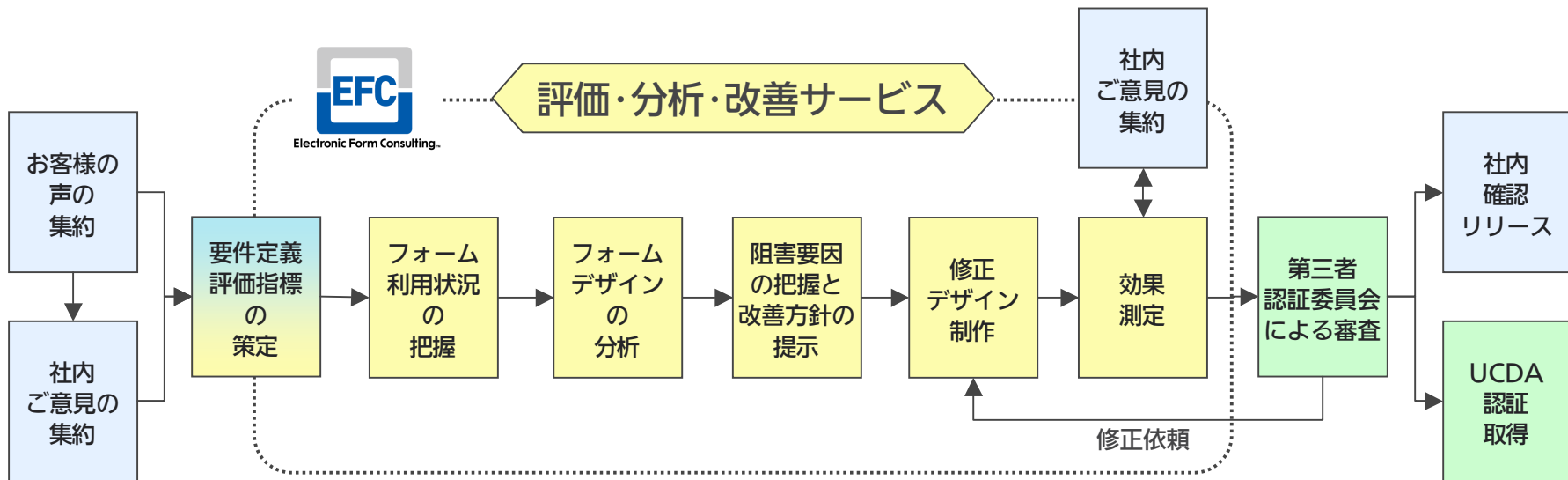


＜電子フォームの基本的な流れ＞



評価指標の策定から始まり、ユーザーの要求を反映した電子フォームの改善を行い、最終的にUCDAの認証委員会が認める利用品質の確保ができるよう支援いたします。

＜ユニバーサルコミュニケーションデザインの標準プロセス＞



ISO13407（人間中心設計）のプロセスをベースに
循環的に評価と改善を繰り返すデザイン手法

伝わるデザイン



電子フォーム
2B1234567(1)